お知らせ

平成１６年１２月　２日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者クラブ、島根県政記者会、
岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、
山口県政記者会、山口県政滝町クラブ、中国地方建設記者クラブ

きれいな川ってどんな川？

～平成１６年度　水生生物による水質簡易調査の実施結果について～

川底に住む生きものは、比較的長い期間の水質の状況を反映しています。
「水生生物による水質簡易調査」は、誰でも簡単に参加でき、高価な機材を必要としないため、水遊び感覚で川底の生物を採取して、その種類や数を調べることで川の比較的長い期間の水質を簡単に知ることができます。

例年から多くの子ども達に参加していただいており、今年も中国地方一級水系の１０４地点において、**６月から１０月にかけて小・中学生を中心に８３団体、延べ１，７４８名の参加**を得て実施しました。

水質を［Ⅰ］きれいな水～［Ⅳ］大変きたない水の４つの階級に分けて取りまとめた結果、
［Ⅰ］きれいな水および［Ⅱ］少しきたない水と評価された地点が全体の９５％となっており、昨年同様に水質は良化傾向にあります。

国土交通省　中国地方整備局

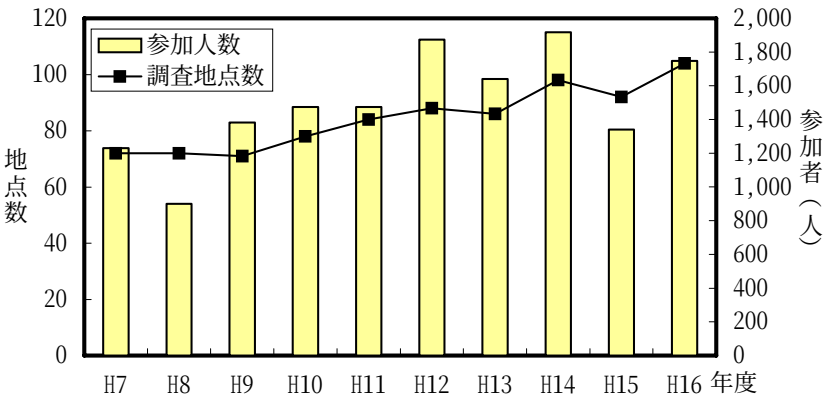
○問い合わせ先
国土交通省中国地方整備局
電話番号（０８２）２２１－９２３１（代表）
（担当）河川部　広域水管理官　藤原　博昭　（内線 3516）夜間 511-6212
（担当）河川部　建設専門官　木原　均　（内線 3758）
（広報担当窓口）広報広聴対策官　稲村　操　（内線 2117）
企画部環境調整官　谷本　尚威（内線 3114）

平成１６年度水生生物による水質簡易調査の実施結果について（要旨）

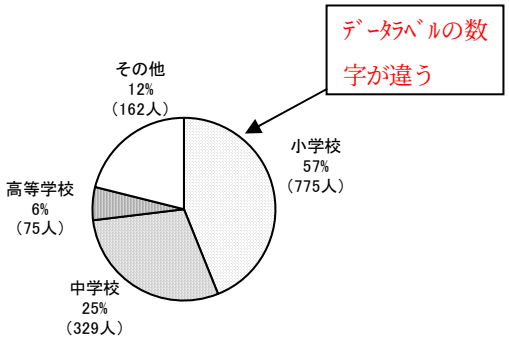
○参加者数と調査地点数

小・中学生を中心に、８３団体、延べ１，７４８名の参加を得て、

中国地方一級水系１０４地点で実施。



参加者数と調査地点数



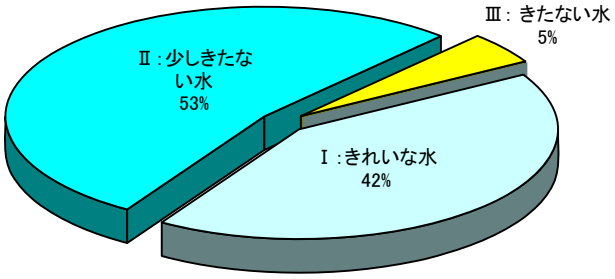
平成16年度　調査参加団体構成比

平成１６年度の水生生物による水質簡易調査は、中国地方一級水系の１０４地点において小・中学生を中心に、８３団体、延べ１，７４８名の参加を得て実施しました。今年度は台風の影響により調査日時の延期や調査を中止した地点もありますが、概ね当初予定されていた地点についての調査を実施することができました。なお、参加者は昨年度（６７団体　延べ１，３４１名）と比較して約４００名増加しています。

「総合的な学習の時間」のカリキュラムのひとつとして調査を実施した学校や流域内の市民団体のみなさんの参加も昨年度同様に増えてきており、参加団体及び形態は年々多様化しています。

○中国地方の一級河川の水質

水質階級［Ⅰ］、［Ⅱ］と判定された地点が全体の９５％

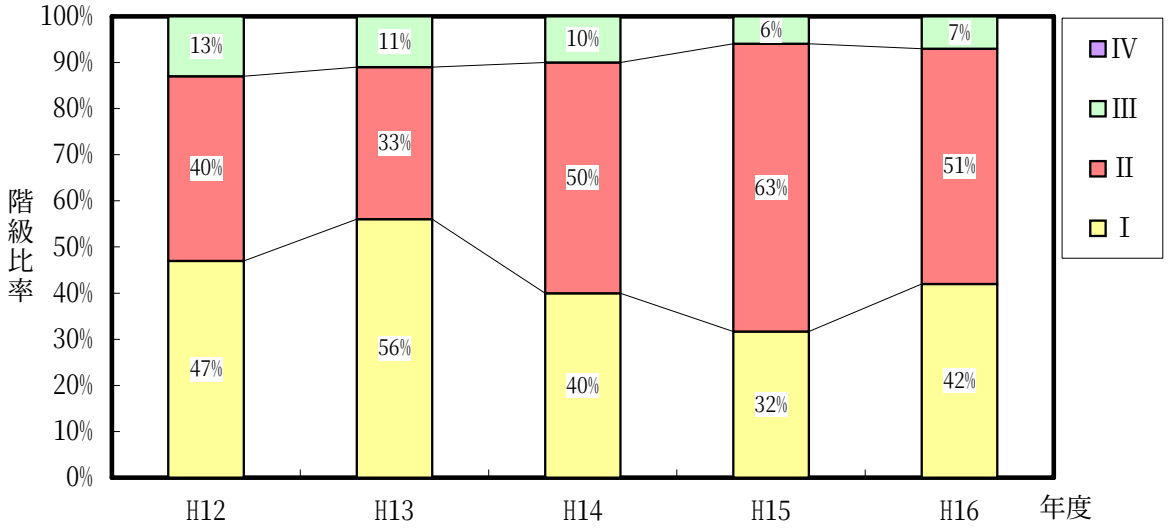


平成16年度　水質階級構成比

平成１６年度の水生生物による水質簡易調査の結果は、水質階級［Ⅰ］、［Ⅱ］（ゲンジボタル等が生息）と判定された地点[注1)]が全体の９５％を占めています。

注１）　BOD 等からみた河川水質とは必ずしも一致していませんが、［Ⅰ］［Ⅱ］の判定箇所では、BOD 値がおおむね２mg/l 以下の値を示しています。

中国地方の一級河川の水質は、経年（最近５ヶ年）で良化傾向



継続的(5カ年）に調査を行っている地点の水質階級の経年変化(71地点)

継続的に調査を行っている地点（７１地点（全１０４地点））の水質階級の経年変化（最近５ヶ年）をみると、水質階級［Ⅰ］となった地点が昨年度と比較して１０％増加しています。水質階級［Ⅰ］［Ⅱ］と判定された地点[注1)]は、昨年度とほぼ同様で、経年で水質は良化傾向にあります。（ただし平成１２年度から新しい調査方法で実施しています。）

注１）BOD 等からみた河川水質とは必ずしも一致していませんが、［Ⅰ］［Ⅱ］の判定箇所では、BOD 値がおおむね２mg/l 以下の値を示しています。

水のきれいさの程度（階級）とその指標となる生物

Ⅰ：きれいな水の生物		Ⅱ：少しきたない水の生物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドロムシ	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
	ウズムシ		カワニナ
Ⅲ：きたない水の生物		**Ⅳ：大変きたない水の生物**	
ミズカマキリ	○ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○イソコツブムシ			

注）○は、海水の少し混ざっている汽水域の生物

平成１６年度

水生生物による水質簡易調査の実施結果

中国地方整備局

目　　次

		ページ
１．調査の目的	・・・・・・・・	１
２．調査の概要	・・・・・・・・	１
３．調査の方法	・・・・・・・・	２
４．調査結果の概要	・・・・・・・・	３
５．河川別の調査結果概要	・・・・・・・・	４
６．河川別参加者、参加団体等集計	・・・・	１０
７．地点別調査結果集計	・・・・・・・	１７

１．調査の目的

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、特に川底に生息する生物（水生生物）は、過去から調査時点までの長時間の水質状況を反映した結果でもあります。

したがってどのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。

国土交通省と環境省では、それぞれ昭和５９年から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という）をはじめています。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただき、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握し、水質保全施策の基礎資料を得るとともに、調査を通じて私達の身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

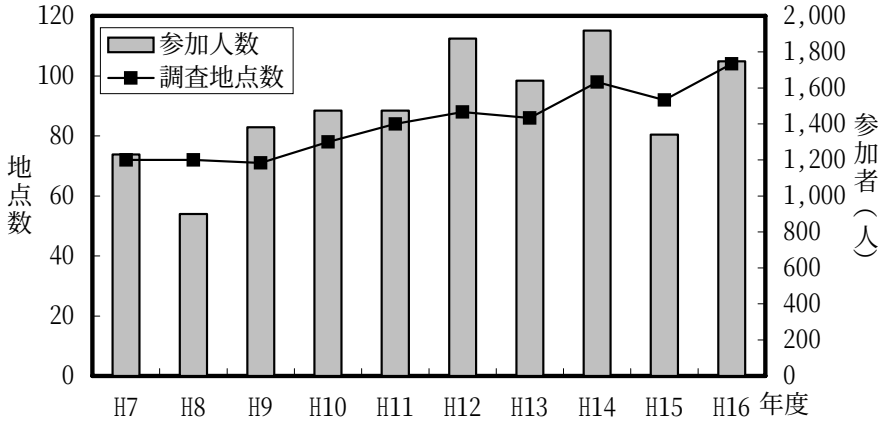
２．調査の概要

平成１６年度の調査は、中国地方の一級河川１３水系の１０４地点において、６月から１０月にかけて、８３団体、のべ １，７４８人の参加を得て実施しました。これは、天候により参加者が減少した昨年度（平成１５年度）の参加者数（１，３４１人）より、約４００人増加しています。（P.10 表－２参照）

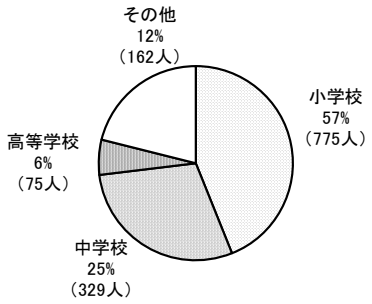
今年度の調査は、台風の影響等により、当初予定していた調査日時に実施ができなかった団体や調査を中止した団体もありましたが、概ね予定どおり調査を実施することができました。

参加団体の中には、水生生物調査に総合学習の一環として参加する小学校や流域内の市民団体のみなさんの参加も近年増えてきています。

今回多くの子供達に水に親しみながら調査をしていただき大変貴重なデータを得ることができ、”きれいな川”に対するより具体的なイメージを持って頂く機会となりました。



図－1　参加者数と調査地点数



平成16年度　調査参加団体構成比

３．調査の方法

この調査は、環境省水環境部・国土交通省河川局編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」を基に、川底に生息する水生生物を採取し、表－１に示す『水のきれいさ』の指標となっている生物の種類数と個体数により、川の水質状況を判定するものです。

・判定方法

水質階級の判定方法は、調査地点毎に出現した個体数の多かった指標生物２種類（ただし、３種類の指標生物についてほぼ同じ個体数であった場合は、最大３種類）については２点、それ以外の指標生物については１点として点数をつける。

各階級ごとに各指標生物の点数を合計する。

点数のもっとも高い階級をその地点の水質階級と判定する。

ただし、複数の階級について同点がある場合には、水質の良い階級をその地点の階級とする。例えば、階級Ⅰと階級Ⅱが同点の場合は階級Ⅰとする。

表－１　水のきれいさの程度（階級）とその指標となる生物

Ⅰ：きれいな水の生物		Ⅱ：少しきたない水の生物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドロムシ	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
	ウズムシ		カワニナ
Ⅲ：きたない水の生物		**Ⅳ：大変きたない水の生物**	
ミズカマキリ	○ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○イソコツブムシ			

注）○は、海水の少し混ざっている汽水域の生物

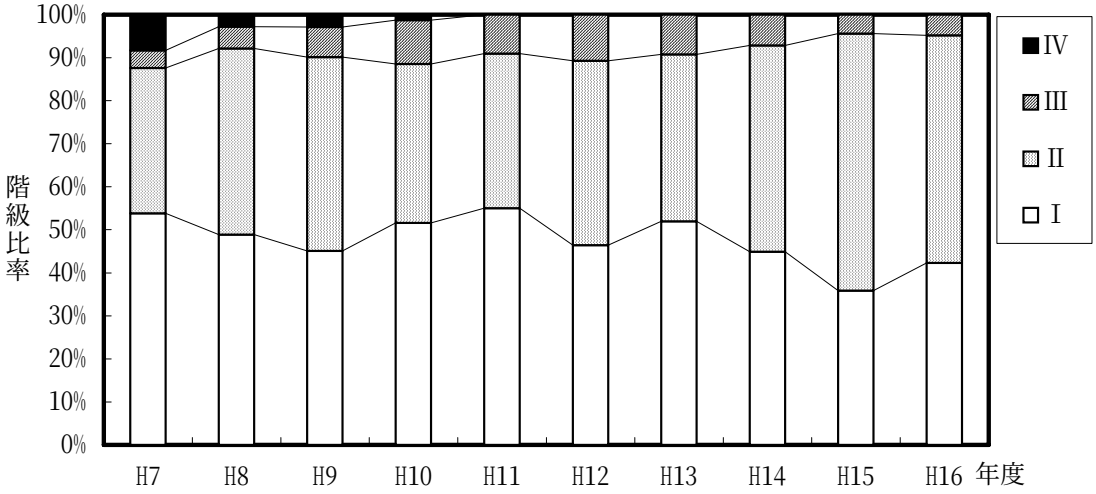
４．調査結果概要

水生生物からみた中国地方一級河川の水質状況は、調査地点１０４地点のうち、「Ⅰ：きれいな水」が４４地点、「Ⅱ：少しきたない水」が５５地点、「Ⅲ：きたない水」が５地点、「Ⅳ：大変きたない水」が０地点となりました。この結果、[Ⅰ]、[Ⅱ]と判定された地点が全体の９５％（昨年：９６％）になり、中国地方の一級河川は良好な状態を保っています。

昨年度と比較すると水質階級が上がった地点数は、１１地点（［Ⅱ］→［Ⅰ］:１０地点、［Ⅲ］→［Ⅰ］:１地点）と水質階級が下がった６地点（［Ⅰ］→［Ⅱ］:４地点、［Ⅱ］→［Ⅲ］：２地点）を上回っています。

また、[Ⅲ]と判定された地点は５地点と昨年度より１地点上回りました。今後も生活排水など川の水質に影響を及ぼすものに対する一人一人の心掛けが必要です。

図－２は、過去１０年間の判定水質階級比率の推移を表したものですが、今年度は階級ⅠとⅡを合わせた比率は９５％であり、中国地方の一級水系は、継続的に良好な水質を保っていると言えます。



図－２　判定水質階級比率の推移

（Ⅰ：きれいな水、Ⅱ：少しきたない水、Ⅲ：きたない水、Ⅳ：大変きたない水）

※環境庁と調査方法・判定基準を統一したため、H11年度までの判定基準による判定結果とは若干異なる場合があります。

５．河川別の調査結果概要

（P.10～28 表－２～５、図－３参照）

注）水質の評価は、調査地点の結果のみをもとに判断していますので、河川全体をとらえて評価をしているものではありません。

［Ⅰ］：きれいな水、［Ⅱ］：少しきたない水
［Ⅲ］：きたない水、［Ⅳ］：大変きたない水

＜ 岡山県 ＞

岡山県の河川の水質階級は、吉井川弓削橋地点を除く地点で［Ⅱ］と判定されており、良好な状態を保っています。

吉井川水系

吉井川　：　吉井川の水質は、良好ですが、弓削橋地点で水質階級が［Ⅱ］から［Ⅲ］へ下がっています。［Ⅱ］のオオシマトビケラ、カワニナ等を中心に出現しています。また、［Ⅲ］のタニシも多く確認されています。

金剛川　：　金剛川の水質は、良好です。
吉井川と傾向は似ており、[Ⅱ]のヒラタドロムシ、カワニナが多く確認されています。

旭川水系

旭　川　：　旭川の水質は、良好です。
[Ⅱ]のカワニナ、ヒラタドロムシ等を中心に、出現しています。

高梁川水系

高梁川　：　高梁川の水質は、良好です。
[Ⅱ]のカワニナ、ヒラタドロムシ等を中心に、出現しています。
湛井堰、酒津地点では、［Ⅰ］の指標生物も確認されていますが、大変きたない水とされる［Ⅳ］のサカマキガイも確認されています。

小田川　：　小田川の水質は、良好です。
[Ⅱ]のカワニナ、コガタシマトビゲラ等を中心に、出現しています。

＜ 広島県 ＞

芦田川水系高屋川は、昨年度に引き続き、［Ⅲ］と判定されました。江の川水系西城川車橋地点、太田川水系の６地点（高山川下流、壬辰橋、太田川橋、深川橋、神田橋、松原橋）で水質階級が［Ⅰ］へ上がっています。

その他の地点は、昨年度に引き続き、［Ⅰ］および［Ⅱ］の生物が多く確認され、良好な状態となっています。

芦田川水系

芦田川　：　布渡橋地点で水質階級が[Ⅰ]から[Ⅱ]へ下がっていますが、芦田川の水質は、良好な状態です。
[Ⅱ]のコガタシマトビケラ、ヒラタドロムシ、スジエビ、ヤマトシジミ等を中心に出現しています。［Ⅰ］の指標生物も確認されていますが、［Ⅲ］のヒルも多く確認されています。
また、山手橋で昨年に引き続き、[Ⅳ]のセスジユスリカが多く確認されています。

高屋川　：　高屋川の水質は、汚濁した状態が続いています。
[Ⅲ]のヒル、ミズムシを中心に出現しており、御幸橋地点では、[Ⅳ]のセスジユスリカも出現しています。昨年度に引き続き、今年度も[Ⅰ]、[Ⅱ]の判定地点はありませんでした。

太田川水系

太田川　：　太田川の水質は、良好な状態です。中流部３地点（高山川下流、壬辰橋太田川橋地点）で水質階級が[Ⅱ]から[Ⅰ]へ上がっています。
[Ⅰ]のヒラタカゲロウ、[Ⅱ]のヒラタドロムシ、カワニナ等を中心に、出現しています。
昨年度壬辰橋、安佐大橋地点で多く確認された［Ⅲ］のヒルは、今年度は少なくなっています。

古　川　：　古川の水質は、改善の傾向がみられます。
神田橋、松原橋地点では、［Ⅰ］のカワゲラ、ウズムシが多く出現しており、水質階級が［Ⅰ］へ上がっています。

根谷川　：　根谷川の水質は、新川橋地点で昨年度同様、水質階級が［Ⅱ］と判定されています。［Ⅱ］のカワニナ、スジエビ等を中心に出現しています。

三篠川　：　三篠川の水質は、深川橋地点で、水質階級が［Ⅱ］から［Ⅰ］へ上がっています。［Ⅰ］のカワゲラ、［Ⅱ］のカワニナが多く出現しています。

江の川水系

江の川　：　広島県内の江の川の水質は、良好です。

(上流)　多くの調査地点で、[Ⅰ]のヒラタカゲロウ、ナガレトビケラ、サワガニ、[Ⅱ]のコガタシマトビケラ、ヒラタドロムシ、カワニナ、スジエビを中心に、[Ⅰ]及び[Ⅱ]の指標生物が種類豊富に確認されています。

馬洗川　：　馬洗川の水質は、良好です。

多くの調査地点で[Ⅰ]のサワガニ、ナガレトビケラ等、[Ⅱ]のヒラタドロムシ、カワニナ等を中心に種類豊富に確認されています。

また、[Ⅲ]の生物では、ヒルが多く確認されており、［Ⅳ］のサカマキガイも確認されています。

西城川　：　西城川の水質は、車橋地点で水質階級が［Ⅱ］から［Ⅰ］に上がっています。[Ⅰ]のヒラタカゲロウ、ナガレトビケラ、[Ⅱ]のヒラタドロムシ等を中心に種類豊富に確認されています。

神野瀬川：　神野瀬川の水質は、良好です。

[Ⅰ]のヒラタカゲロウ、ナガレトビゲラ、ヘビトンボ、［Ⅱ］のカワニナ等を中心に種類豊富に確認されています。

＜広島県・山口県＞

小瀬川水系

小瀬川　：　小瀬川の水質は、大変良好です。

[Ⅰ]のナガレトビゲラ、カワゲラ［Ⅱ］のコガタシマトビゲラを中心に出現しています。

一方、[Ⅲ][Ⅳ]の生物は確認されていません。

＜ 山口県 ＞

佐波川は昨年度に引き続き、全ての地点で［Ⅰ］と判定され、大変良好な水質です。また、［Ⅰ］及び［Ⅱ］の指標生物が種類豊富に確認されています。

佐波川水系

佐波川　：　佐波川の水質は、大変良好です。
[Ⅰ]のヒラタカゲロウ、[Ⅱ]のカワニナを中心に、[Ⅰ]及び[Ⅱ]の指標生物が多様に確認されています。

＜ 島根県 ＞

［Ⅰ］及び［Ⅱ］の指標生物を中心に確認されており、島根県の河川の水質は良好な状態を保っています。

高津川水系

高津川　：　高津川の水質は、良好です。神田地点で水質階級が［Ⅱ］から［Ⅰ］へ上がっていますが、昨年度確認されなかった、［Ⅲ］イソコツブムシも多く確認されています。
[Ⅰ]のカワゲラ、ヒラタカゲロウ、［Ⅱ］のカワニナを中心に確認されています。

匹見川　：　匹見川の水質は、大変良好です。
[Ⅰ]のカワゲラ、ヒラタカゲロウを中心に確認されています。

江の川水系

江の川（下流）　：　島根県内の江の川の水質は、良好です。川戸地点で水質が［Ⅱ］から［Ⅰ］へ上がっています。[Ⅱ]のヒラタドロムシ、カワニナ等を中心に確認されています。

斐伊川水系（斐伊川、伊野川、佐世川、松笠川、滝谷川、亀嵩川）

：　斐伊川水系の水質は、良好です。
[Ⅰ]のカワゲラ、ナガレトビケラ、ヤマトトビゲラ、サワガニ等、[Ⅱ]のゲンジボタル、カワニナ、スジエビ等を中心に確認されており、[Ⅰ]及び[Ⅱ]の指標生物が種類豊富に確認されています。

神戸川水系

神戸川　：　［Ⅰ］の指標生物が多く確認され、水質は良好な状態です。

＜ 鳥取県 ＞

鳥取県の河川の水質階級は、天神川福光橋地点を除く地点で［Ⅰ］および［Ⅱ］と判定されており、良好な状態を保っています。

日野川水系

日野川　：　日野川の水質は、良好です。伯耆橋地点で水質階級が［Ⅱ］から［Ⅰ］へ上がっています。
[Ⅱ]のヒラタドロムシを中心に［Ⅰ］［Ⅱ］の指標生物が種類豊富に出現しています。

秋原川　：　秋原川の水質は、大変良好です。
昨年度に引き続き[Ⅰ]と判定されています。

法勝寺川：　法勝寺川の水質は、良好です。
[Ⅱ]のオオシマトビゲラ、カワニナ等を中心に出現しています。

天神川水系

天神川　：　天神川の水質は、大変良好です。
[Ⅰ]のヒラタカゲロウ、ヘビトンボを中心に出現しています。
小田橋地点では［Ⅲ］のヒルが確認されています。

小鴨川　：　小鴨川の水質は、大変良好です。
天神川の出現傾向と同様に[Ⅰ]のヒラタカゲロウ、ヘビトンボ等を中心に出現しています。

国府川　：　国府川の水質は、良好です。
上福田橋地点では、[Ⅰ]のカワゲラ、ウズムシ等を中心に出現していますが、福光橋地点では、［Ⅲ］のヒル、イソコツブムシ等を中心に出現しており、水質階級は［Ⅲ］と判定されています。

三徳川　：　三徳川の水質は、大変良好です。
[Ⅰ]のカワゲラ、ヘビトンボ等を中心に出現しています。

千代川水系

千代川　：　千代川の水質は、良好な状態ですが、佐貫および袋河原地点で水質階級が[Ⅰ]から[Ⅱ]へ下がっています。

[Ⅱ]のヒラタドロムシ、スジエビ、カワニナ等を中心に出現しており、昨年度［Ⅰ］のカワゲラ、ヒラタカゲロウが多く確認されていた佐貫地点では、今年度は確認されませんでした。

袋　川　：　袋川の水質は、良好です。

[Ⅱ]のヒラタドロムシ、カワニナ等を中心に出現していますが、町屋地点では、［Ⅰ］の指標生物が種類豊富に確認され、水質階級が［Ⅱ］から［Ⅰ］へ上がっています。

八東川　：　八東川の水質は、良好です。

[Ⅱ]のヒラタタドロムシ、カワニナ等を中心に出現しています。

表－５　水生生物による水質の簡易調査　経年変化

水系名	河川名	調査地点名	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
吉井川	吉井川	和気橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
		熊山橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
		弓削橋	II	II	II			III	III	II	II	III
		備前大橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
	金剛川	宮　橋	III	II	I	II	II	II	II	II	II	II
旭　川	旭　川	新大原橋	II	I	II	II	II	II	II	II	II	II
		三　野	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
高梁川	高梁川	湛井堰	I	I	I	I	II	II	II	II	II	II
		川辺橋	I	I	I	I	II	II	II	II	II	II
		酒　津	I	II	I	II	II	II	II	II	II	II
	小田川	福松橋	I	II	II	II		II	II	II	II	II
芦田川	芦田川	布渡橋	II	II	II	I	I	I	I	II	I	II
		大渡橋	II	II	II	I	I	II	I	II	II	II
		府中大橋(新橋)	I	II	II	I	I	II	II	II	II	II
		佐賀田橋	II	II	II	I	I	II	II	II	II	II
		七社頭首工	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
		山手橋	II	III	II	II	II	II	II	II	II	II
	高屋川	大仙坊橋	IV	IV	III	III	III	III	III	III	III	III
		白鷺橋（御幸橋）	IV	IV	IV	III	III	III	III	III	III	III

表－５　水生生物による水質の簡易調査　経年変化

水系名	河川名	調査地点名	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
江の川	馬洗川	八次河川敷					III	I	II	II	II	II
		美波羅橋										II
		太滝橋										II
		川西小学校裏					I	I	I	II	II	II
		大田橋										I
		上田橋										I
		十日市親水公園	I	II	II	II	II	I	I	II	II	-
		三次市三良坂支所裏										II
		高橋										II
		宮脇橋下流										II
		上下川										I
		杉谷川										II
	江の川（上流）	作木川										I
		熊見川										I
		カヌー公園前										I
		生田川合流点										II
		祝橋										II
		船所排水樋門										II
		上村川合流点									II	II
		上村バス停										II
		原田橋				I	I	I	I	I	I	I

表－５　水生生物による水質の簡易調査　経年変化

水系名	河川名	調査地点名	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
江の川	江の川（上流）	新開橋										II
		桂水辺の楽校									II	II
	西城川	旭橋										II
		車橋						I	II	I	II	I
	神野瀬川	神野瀬川										II
		新記念橋下流										I
		君田子ども遊園地										I
	江の川（下流）	都賀本郷	I	II	II	III	I	II	II	II	II	II
		粕渕	I	II	I	II	II	II	II	II	II	II
		三島	I	I	II	III	I	II	II	II	II	II
		川戸	I	I	I	I	I	II	I	I	II	I
		市村	I	II	I	I	II	I	II	II	II	II

表－５　水生生物による水質の簡易調査　経年変化

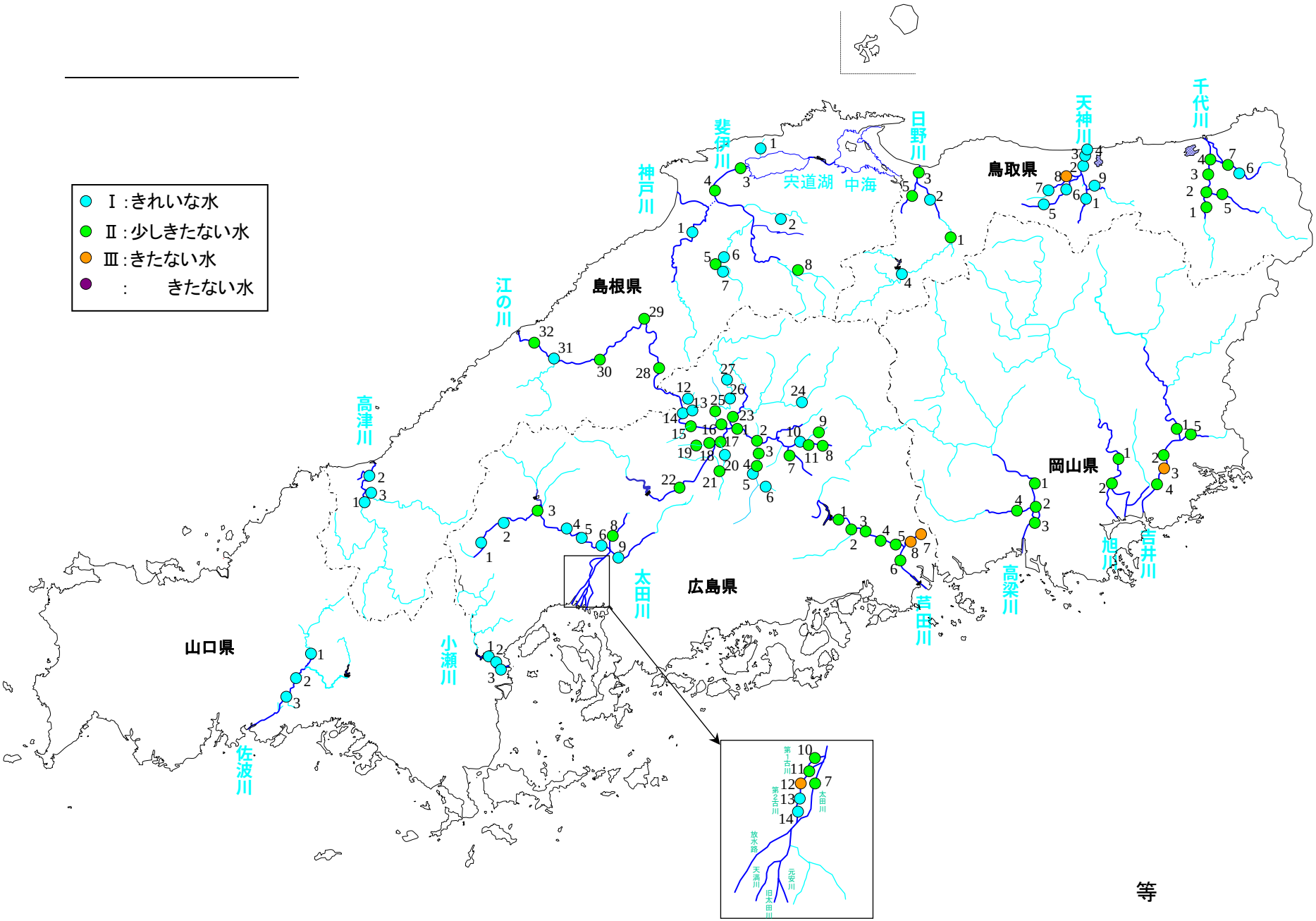
水系名	河川名	調査地点名	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
太田川	太田川	柴木川下流	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		新轟橋	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		加　計	I	I	I	I	I	I	I	I	II	II
		高山川下流	I	I	I	I	I	I	I	I	II	I
		壬辰橋	I	I	I	I	I	I	I	I	II	I
		太田川橋	I	I	I	I	I	I	I	II	II	I
		安佐大橋	II	II	II	II	II	II	I	II	II	II
	根谷川	新川橋	II	II	II	I	I	I	I	II	II	II
	三篠川	深川橋	II	I	II	I	I	I	I	II	II	I
	古川	第一古川	IV	II	III	IV	III	III	III	III	II	II
		第二古川	IV	III	III	III	III	III	III	III	II	II
		大　下	IV	II	III	III	III	III	III	III	III	III
		神田橋	III	III	III	III	III	III	III	III	III	I
		松原橋	IV	III	IV	III	III	III	III	III	II	I
小瀬川	小瀬川	小川津	II	I	I	II	II	I	I	I	I	I
		御堂原	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		両国橋	I	I	II	I	I	I	I	I	I	I
佐波川	佐波川	堀	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		漆尾	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		新橋	I	II	I	II	I	I	I	II	I	I
高津川	高津川	神田	I	I	I	I	I	II	I	I	II	I
		虫追	II	I	I	II	II	I	I	I	I	I
	匹見川	横田橋	I	I	I	I	I	II	I	I	I	I

表－５　水生生物による水質の簡易調査　経年変化

水系名	河川名	調査地点名	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
斐伊川	伊野川	野郷										I
	佐世川	佐世川中流										I
	斐伊川	斐伊川河口										II
		神立橋										II
	松笠川	中組										II
		下組										I
	滝谷川	滝谷										I
	亀嵩川	亀嵩公民館										II
神戸川	神戸川	立久恵峡										I
日野川	日野川	鬼守橋	I	II	II	I	I	II	I	I	II	II
		伯耆橋	I	I	II	I	I	II	I	I	II	I
		車尾堰	I	I	II	I	I	I	II	II	II	II
	秋原川	日南湖畔			I	I		I	I	II	I	I
	法勝寺川	五ケ堰	II	I	II	I	I	II	II	II	II	II
天神川	天神川	河戸橋	I	II	I	I	I	I	I	I	I	I
		今津堰	I	I	II	I	I	I	I	I	I	I
		小田橋				II	II	I	I	I	I	I
		沢井手排水樋門								I	I	I
	小鴨川	関金水辺の楽校				I	I	I	I	I	I	I
		小鴨橋	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I
	国府川	上福田橋					II	II	I	I	I	I
		福光橋	III	II	II	II	II	III	I	I	II	III
	三徳川	大瀬水辺の楽校					I	I	I	I	I	I

表－５　水生生物による水質の簡易調査　経年変化

水系名	河川名	調査地点名	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
千代川	千代川	佐貫	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
		袋河原					Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
		源太	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
		行徳	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
	八東川	片山	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
	袋川	町屋					Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
		大杙	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ


Ⅰ:きれいな水
Ⅱ:少しきたない水
Ⅲ:きたない水
:　きたない水
鳥取県
島根県
岡山県
広島県
山口県
宍道湖
中海
斐伊川
神戸川
日野川
天神川
千代川
江の川
高津川
太田川
小瀬川
佐波川
芦田川
高梁川
旭川
吉井川
第一古川
第二古川
放水路
天満川
旧太田川
元安川

等

調査風景

千代川　佐貫地点

天神川　沢井手排水樋門地点

日野川　車尾堰地点

斐伊川水系斐伊川神立橋地点

江の川（下流）　市村地点

高津川水系匹見川横田橋地点

佐波川　漆尾地点

小瀬川　御堂原地点

調査風景

太田川　新轟橋地点

馬洗川　川西小学校裏地点

芦田川　七社頭首工地点

吉井川　和気橋地点

旭川　新大原橋地点

高梁川　川辺橋地点